東広島市教育委員会定例会（令和7年3月）議事録

1 日 時 令和7年3月27日（木）午後3時0分～午後4時0分

2 出席者

（1）教育長 市場教育長

（2）委員 渡部教育長職務代理者、京極委員、島本委員、棚橋委員、柏崎委員

（3）事務局 【学校教育部】

片岡学校教育部長、神笠教育監、武上学校教育部次長兼教育総務課長、吉岡学事課長、鷹橋指導課長、徳満指導課情報教育推進室長、長野指導課課長補佐兼指導主事、郡司教育総務課課長補佐兼教育総務係長兼管理係長

【生涯学習部】

伊藤生涯学習部長、神笠生涯学習部次長兼生涯学習課長、大内スポーツ振興課長、手島生涯学習部次長兼文化課長、坂木青少年育成課長、尾畑生涯学習課課長補佐兼地域の学びの企画係長兼管理係長

【こども未来部】

上杉保育課長、植木保育課課長補佐兼保育所係長、播摩保育課課長補佐兼保育環境整備係長

（4）書記 戸田主事

3 場 所 北館2階 201会議室

4 議 題

（1）議案事項

議案第4号 東広島市教育委員会組織規則及び東広島市教育委員会職の設置に関する規則の一部改正について

議案第5号 東広島市教育委員会職員の服務に関する訓令及び東広島市教育委員会事務局職務権限規程の一部改正について

議案第6号 東広島市立幼稚園管理運営規則の全部改正について

議案第7号 東広島市立学校の校長及び園長に対する事務委任規程の一部改正について

議案第8号 東広島市外国語指導助手の任用等に関する規則の一部改正について

議案第9号 東広島市ボランティア活動支援事業実施要綱の廃止について

議案第10号 東広島市立美術館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について

議案第11号 重要文化財旧木原家住宅設置及び管理条例施行規則の一部改正について

議案第12号 東広島市指定重要文化財旧石井家住宅設置及び管理条例施行規則の一部改正について

（2）報告事項

報告第12号 臨時代理の報告について

報告第13号 専決処分の報告について

報告第14号 令和7年第1回東広島市議会定例会について

報告第15号 令和7年度予算特別委員会について

報告第16号 東広島市教育情報セキュリティポリシーの改訂について
【非公開】

報告第17号 G I G Aスクール推進に係る本年度の取組みについて

(3) その他

- ア 令和6年度末辞・退職者（応募認定退職者）辞令交付式及び令和7年度県費負担教職員辞令交付式について
- イ 次回教育委員会定例会の日程について

開会 午後3時0分

- 市場教育長：それでは、定足数に達していますので、令和7年3月の教育委員会定例会を開会いたします。

本日の議事録署名委員は、島本委員と棚橋委員でございます。どうぞよろしくお願いたします。

本日の会議の進行でございますが、報告第16号は情報セキュリティに関することとして、東広島市教育委員会会議規則第18条第1項第7号に当たるため、非公開として審議したいと思います。

また、本日は時間の関係で、議案第10号、議案第11号、議案第12号についての説明は一括でさせていただき、報告第15号については事務局からの説明は割愛させていただきたいと思ひます。

委員の皆さんの意見を伺いたいと思ひますが、いかがでしょうか。

それでは、報告第16号は非公開として、その他の項目に続いて、最後に提案させていただきます。

また、議案第10号、議案第11号、議案第12号についての説明は一括でさせていただき、報告第15号については質疑応答のみとさせていただきます。よろしくお願いたします。

議案第4号 東広島市教育委員会組織規則の一部改正及び東広島市教育委員会職の設置に関する規則の一部改正について

- 市場教育長：それでは、議案事項からですが、議案第4号東広島市教育委員会組織規則及び東広島市教育委員会職の設置に関する規則の一部改正についてを議題といたします。

議案の説明をお願いいたします。

- 武上学校教育部長兼教育総務課長：1ページをお願いいたします。

東広島市教育委員会組織規則及び東広島市教育委員会職の設置に関する規則の一部改正についてでございます。

1の提案理由でございますが、令和7年4月1日付で担当課長制の導入に併せて

課内室を廃止することと、また生涯学習センターが令和7年4月1日から東広島市教育文化振興事業団の指定管理の施設になることに伴う規定の整理を行うものでございます。

2の改正内容でございますが、(1)といたしまして、組織規則の一部改正は、学校教育部指導課情報教育推進室を廃止するもの。イといたしまして、生涯学習部文化課市史編さん室を廃止し、市史編さん係とするもの。ウといたしまして、生涯学習センターの指定管理導入に伴いまして、生涯学習部生涯学習課学習支援係の事務分掌の所要の規定の整理を行うものでございます。

2ページをお願いいたします。

(2)といたしまして、職の設置に関する規則の一部改正といたしまして、アとして、理事、調整監、室長、地域生涯学習センター長の職を廃止するものと、イといたしまして、担当課長の職を設置するものでございます。

3の施行期日は、令和7年4月1日となります。

詳細につきましては、新旧対照表をつけておりますので、6ページをお願いいたします。

右側が旧で、左側が新、4月1日からの状態となります。6ページは、情報教育推進室、市史編さん室を廃止するものでございます。7ページは、生涯学習センターの指定管理導入による体制となります。飛んで、9ページでございますが、3室を廃止する改正内容でございます。10ページは、地域生涯学習センターの廃止、これは指定管理導入による体制でございます。

12ページをお願いいたします。

職の設置に関する規則でございますが、右側の表の2番目、理事、調整監、室長を廃止し、左側になりますが、新たに教育総務課内に施設担当課長を設置するための改正の内容になっております。13ページは、指定管理の導入によりセンター長の職を廃止するものでございます。

説明は以上でございます。

○ 市場教育長：ありがとうございました。

ただいまの議案第4号東広島市教育委員会組織規則及び東広島市教育委員会職の設置に関する規則の一部改正について、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

よろしいでしょうか。

なければ、原案のとおり可決することとしてよろしいでしょうか。

それでは、提案のとおり決定いたします。

議案第5号 東広島市教育委員会職員の服務に関する訓令及び東広島市教育委員会事務局職務権限規程の一部改正について

○ 市場教育長：次に、議案第5号広島市教育委員会職員の服務に関する訓令及び東広島市教育委員会事務局職務権限規程の一部改正についてを議題といたします。

議案の説明をお願いいたします。

- 武上学校教育部長兼教育総務課長：15ページをお願いいたします。

議案第5号でございますが、改正の内容は、先ほど説明いたしました議案第4号と同じようなものとなります。

1の提案の理由でございますが、令和7年4月1日付の業務執行体制の変更に係る規定の整備を行うものと、令和7年4月1日付で生涯学習課が所管しております生涯学習センターが指定管理施設となることに伴う見直しを行うものでございます。

2の改正の内容でございますが、(1)職員の服務に関する訓令の一部改正といたしまして、地域生涯学習センターのセンター長に関する規定を削除したものの、(2)職務権限規程の一部改正といたしまして、調整監に関する規定の削除、担当課長の職務の権限を新たに定める、地域生涯学習センターの事務に関する規定の削除を行うものでございます。

16ページをお願いいたします。

3の施行期日は、令和7年4月1日でございます。

新旧対照表をつけておりますので、19ページをお願いいたします。

同じように、表の右側が現在の訓令でございますが、左側が新しいものでございます。19ページは地域生涯学習センターのセンター長に関する規定を削除する内容となっております。

20ページをお願いいたします。

ここからは職務権限規程の改正となります。調整監の業務的な職務権限を削除いたしまして、新たに第10条の2として、担当課長の職務権限を新たに追加しております。

21ページからは、調整監の職を廃止したことに伴う改正が続きますが、25ページは地域生涯学習センターの事務に関する規定を削除する内容となっております。

説明は以上でございます。

- 市場教育長：ありがとうございました。

ただいまの議案第5号東広島市教育委員会職員の服務に関する訓令及び東広島市教育委員会事務局職務権限規程の一部改正について、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

なければ、原案のとおり可決することとしてよろしいでしょうか。

それでは、提案のとおり決定いたします。

議案第6号 東広島市立幼稚園管理運営規則の全部改正について

- 市場教育長：次に、議案第6号東広島市立幼稚園管理運営規則の全部改正についてを議題といたします。

議案の説明をお願いいたします。

- 上杉保育課長：それでは、27ページをお願いいたします。

議案第6号東広島市立幼稚園管理運営規則の全部改正について御説明を申し上げます。

1番、改正の理由については、御菌宇幼稚園が認定こども園の認定を受け、幼稚園型認定こども園となることに伴い、幼稚園の運営に必要な事項を定めた規則の全部を改正しようとするものでございます。

次に、2の改正の内容についてでございます。

まず、(1)の趣旨については、この規則は、幼稚園の管理及び運営に必要な事項を定めるものでございますが、新たに保育認定の児童も含めた園児に対する教育・保育等を行うために必要な事項を定めるものでございます。

(2)の定員につきましては、幼稚園利用の1号を70人、保育利用のうち、3歳以上の2号を30人、3歳未満の3号を26人といたします。

次のページをお願いいたします。28ページになります。

(3)の職員につきましては、新たに(イ)のところ、副園長を規定いたします。

次に、(4)番、教育及び保育の内容につきましては、幼稚園教育要領及び保育所保育指針を基本として定めることとしております。

(5)の入園の手続につきましては、「イ」に記載のとおり、新たに保育利用の2号及び3号の児童について定めます。

(6)は、幼稚園利用の1号の児童が本来の利用時間を超えて利用する場合に、預かり保育という手続がございますので、その手続について定めるものでございます。

それでは、次の29ページをお願いいたします。

(7)から(15)までは、延長保育に係る事項を定めます。

(8)の延長保育の対象児童は、保育利用の2号及び3号のうち、短時間利用の認定を受けており、保護者の労働時間や通勤時間等の事情によりまして、通常の保育利用時間の延長を要する児童でございます。続きまして、(9)職員配置、(10)実施時間、(11)及び(12)の手続、(13)保育内容、それから次のページ、30ページをお願いいたします。(14)及び(15)延長保育料について、今申し上げました(9)から(15)までのそれぞれの基準等を設けることとしております。

最後に、3の施行期日につきましては、認定こども園として開園をいたします令和7年4月1日でございます。

議案第6号東広島市立幼稚園管理運営規則の全部改正についての説明は以上でございます。よろしく申し上げます。

○ 市場教育長：ありがとうございました。

ただいまの議案第6号東広島市立幼稚園管理運営規則の全部改正について、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

○ 島本委員：新たに認定こども園ということで、定員が書いてあるんですが、どうですか、定員いっぱい、待機しなければいけない子供たちはいるんですか。

○ 播摩保育課課長補佐兼保育環境整備係長：現状でございますけれども、全定員合わせ

まして126名のところ、4月1日時点で90名になる予定でございます。ただ、これは年齢によってかなり大きな差がありまして、例えば3歳児を取り上げますと、新しく設定した3歳児ですが、幼稚園枠、保育園枠、合わせて30名のところ28人と、かなり埋まっている状態。これに対しまして、4、5歳児、これは幼稚園枠、保育園枠を合わせますと70人なんですけれども、実際には47人。なので、4、5歳児になると、ほとんどの方がどこか保育所なり幼稚園なりに通っていらっしゃるの、わざわざそういった方々は転園してこられないという状況でございます。0歳児から2歳児は、4月1日時点ではあまり埋まるということではなくて、月齢が上がってくるとどんどん埋まってくるという状態でございます。現状は26人の定員枠に対して15名ですが、これは年度途中でどんどん埋まるであろうというふうに保育課としては予想しております。

以上です。

- 島本委員：知り合いで待機、4番目とかいうのでなかなか、人気のところもいろいろあるのかもしれないんですけど、人数がね。行きたいところに行ければいいなというふうに思っています。

それと、1号だ2号だとかあってあるんですけど、うちも孫がいたから、ああ、そんなんがあるんかっていうのは分かるんですけど、説明が、保護者の方にゆっくり説明して理解してもらうのとか、申請主義ですから、知らなくて後で分かったとか、何かいろんなことが起きそうなんですけど、その辺はトラブルというか、そういうのはないですか。

- 植木保育課課長補佐兼保育所係長：まず、在園児の保護者に対しましては、何度か説明会を開催しておりまして、その中で、各1号、2号、3号とあって、どういった利用ができるということは説明をさせていただいております。

また、新入園児の方につきましては、窓口のほうで申請書などを配布いたしますので、そのときに個別にご説明をさせていただいておりますので、今のところ、そういった、思ったのと違うとかというようなことは起きておりません。

- 島本委員：分かりました。いきいきも含めて、子どもに関わることで、子育てするなら東広島なのでスムーズに行きたいところに行けたらいいなと思います。ありがとうございます。
- 市場教育長：そのほかございませんか。
それでは、なければ、原案のとおり可決することとしてよろしいでしょうか。
それでは、提案のとおり決定いたします。

議案第7号 東広島市立学校の校長及び園長に対する事務委任規程の一部改正について

- 市場教育長：次に、議案第7号東広島市立学校の校長及び園長に対する事務委任規程の一部改正についてを議題といたします。

議案の説明をお願いいたします。

- 上杉保育課長：それでは、お手元の資料40ページをお願いいたします。

議案第7号東広島市立学校の校長及び園長に対する事務委任規程の一部改正についてご説明申し上げます。

今、見ていただいている資料の、まず1番、改正理由は、御菌宇幼稚園が幼稚園型認定こども園となることに伴い、副園長の職を新たに設けることから、東広島市立学校の校長及び園長に対する事務委任規程の一部を改正しようとするものでございます。

2、改正案、第3条第3号におきまして列記しております職名に「副園長」を新たに加えるものでございます。

新旧対照表を43ページにつけておりますので、ご覧いただけますでしょうか。

右側が現行、左側が改正後になります。赤字になっております「副園長」の部分が、1つ、追加になるということでございます。

本改正につきましての施行期日は、令和7年4月1日としております。

議案第7号東広島市立学校の校長及び園長に対する事務委任規程の一部改正についての説明は以上でございます。よろしく申し上げます。

○ 市場教育長：ありがとうございました。

ただいまの議案第7号東広島市立学校の校長及び園長に対する事務委任規程の一部改正について、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

よろしいですね。

なければ、原案のとおり可決することとしてよろしいでしょうか。

それでは、提案のとおり決定いたします。

それでは、ここで保育課の職員が退出するため、暫時休憩します。

(休憩)

○ 市場教育長：それでは、再開いたします。

議案第8号 東広島市外国語指導助手の任用等に関する規則の一部改正について

○ 市場教育長：次に、議案第8号東広島市外国語指導助手の任用等に関する規則の一部改正についてを議題といたします。

議案の説明をお願いいたします。

○ 鷹橋指導課長：資料44ページをご覧ください。

東広島市外国語指導助手の任用等に関する規則の一部改正をするための規則を定めようとするものでございます。

1、提案理由についてですが、この外国語指導助手、いわゆるJETプログラムのALTなんですけれども、その報酬等は、総務省、外務省、文部科学省によって全国一律に設定されております。このたびその報酬額、特別休暇の取得期間が改正されるため、この議案を提出するものでございます。

3の施行期日は、令和7年4月1日からとしております。

2の改正案についてでございます。

資料45ページをご覧ください。

東広島市外国語指導助手の任用等に関する規則第6条第1項の表中、28万円を33万5,000円に、30万円を34万5,000円に、32万5,000円を35万5,000円に、33万円を36万円に改めるとともに、第14条第1項第21号中「までの期間」の右に「(当該期間が業務の繁忙期であることその他の業務の事情により当該期間内にこの号の休暇の全部又は一部を使用することが困難であると認められる外国語指導助手にあっては、1の年の6月から10月までの期間)」、これを付け加えるものでございます。

新旧対照表については46ページに載せております。

説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

○ 市場教育長：ありがとうございました。

ただいまの議案第8号東広島市外国語指導助手の任用等に関する規則の一部改正について、ご意見、ご質問があればお願いたします。

よろしいですか。

なければ、原案のとおり可決することとしてよろしいでしょうか。

それでは、提案のとおり決定いたします。

議案第9号 東広島市ボランティア活動支援事業実施要綱の廃止について

○ 市場教育長：次に、議案第9号東広島市ボランティア活動支援事業実施要綱の廃止についてを議題といたします。

議案の説明をお願いいたします。

○ 神笠生涯学習部次長兼生涯学習課長：続いて、議案第9号でございます。東広島市ボランティア活動支援事業実施要綱の廃止についてご説明させていただきます。

資料の47ページをお願いいたします。

1の提案理由でございます。

現在、生涯学習課におきまして実施をしておりますボランティア活動支援事業につきましては、令和7年4月1日から、東広島市文化学習センターの指定管理者であります東広島市教育文化振興事業団におきまして引き継いで行う業務内容となることから、東広島市ボランティア活動支援事業実施要綱の廃止を行うため、本議案を提出するものでございます。

具体的には、資料の19ページでございます。

東広島市教育委員会事務局職務権限規程の新旧対照表をご覧ください。

別表第2、2の生涯学習部生涯学習課、表の上から2段目でございます。生涯学習ボランティアの相談業務におきましても、令和7年4月から指定管理者であります東広島市教育文化振興事業団におきまして実施するため、生涯学習課におきまして、年間計画を作成する旨の記載に変更するものでございます。

次に、資料の20ページでございます。

表の下の2段目、7及び8でございます。こちらも、生涯学習センターの指定管理化に伴いまして、記載を削除するものでございます。

最後に、3の施行期日でございますが、施行期日は、東広島市文化学習センター

の指定管理の開始日に合わせまして、令和7年4月1日とするものでございます。

東広島市ボランティア活動支援事業実施要綱の廃止についての説明は以上でございます。よろしく願いいたします。

○ 市場教育長：ありがとうございました。

ただいまの議案第9号東広島市ボランティア活動支援事業実施要綱の廃止について、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

なければ、原案のとおり可決することとしてよろしいでしょうか。

それでは、提案のとおり決定いたします。

議案第10号 東広島市立美術館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について

議案第11号 重要文化財旧木原家住宅設置及び管理条例施行規則の一部改正について

議案第12号 東広島市指定重要文化財旧石井家住宅設置及び管理条例施行規則の一部改正について

○ 市場教育長：次に、議案第10号東広島市立美術館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について、議案第11号重要文化財旧木原家住宅設置及び管理条例施行規則の一部改正について、議案第12号東広島市指定重要文化財旧石井家住宅設置及び管理条例施行規則の一部改正についてを議題といたします。

議案の説明をお願いします。

○ 手島生涯学習部次長兼文化課長：49ページをお願いいたします。

まず、議案第10号東広島市立美術館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正についてご説明をします。

1の提案理由でございますが、高齢者の医療確保に関する法律の改正により、被保険者証の発行が廃止となり、美術館窓口において後期高齢者医療保険者証の現物確認ができなくなるため、運用方法を年齢による確認に変更するものでございます。

51ページの新旧対照表をお願いいたします。

第9条第1項第2号を「75歳以上の者」と改めるのが主な改正内容でございます。そのほか、同条同項第7号中で用語の整理を行っております。

3の施行期日は、令和7年4月1日でございます。

次に、議案第11号重要文化財旧木原家住宅設置及び管理条例施行規則の一部改正についてご説明いたします。

52ページをお願いいたします。

1の提案理由についてですが、先ほどの美術館と同様、入館料の免除を年齢確認によることといたします。また、保育所、幼稚園、市外及び私立小・中学校、高等学校、そのほか教育機関における引率者につきましても、申請手続を要せず入館料が免除となるよう、規定の整備を行うものでございます。

55ページの新旧対照表をご覧ください。

年齢確認によることとするため、新たに表の左側、第5条第1項第4号に「75歳

以上の者」を加えております。

第3号につきましては、学習機会の拡大を図るため、申請手続を要せず入館料が免除される引率者について、市立小中学校だけでなく、「保育所又は幼稚園、小学校、中学校、若しくは高等学校その他これらに類する教育機関」に拡大するものでございます。

最後に、議案第12号東広島市指定重要文化財旧石井家住宅設置及び管理条例施行規則の一部改正についてご説明いたします。

56ページをお願いいたします。

1の提案理由につきましては、年齢確認による入館料の免除、及び引率者につきましては、先ほどの議案第11号と同じ内容でございます。

59ページの新旧対照表をお願いいたします。

第4条第1項の改正内容は、議案第11号と同じ内容でございます。

また、同条第3項の改正は、入館料免除申請の手続について規定するものでございますが、類似施設の旧木原家住宅と同様に、要件を満たす場合は申請手続を不要とするよう改正するものでございます。

議案第10号、第11号、第12号につきましては以上でございます。よろしくをお願いいたします。

○ 市場教育長：ありがとうございました。

ただいまの説明について、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

○ 島本委員：すいません、年齢確認は何でするんですか。

○ 手島生涯学習部次長兼文化課長：年齢確認は、幾つか手段があると思えますけれども、運転免許証であるとか健康保険証、それからマイナンバーカード、年金手帳、そういった年齢、生年月日が分かるものということをお願いしております。

○ 島本委員：運転免許は、高齢者になると返納しているから、マイナンバーとか、持って歩かないといけない。

○ 手島生涯学習部次長兼文化課長：実際に来られる場合は、そういった入館料の減免がございませぬので。

○ 島本委員：それは皆さんに普及するようにお知らせをしてください。

○ 手島生涯学習部次長兼文化課長：はい。

○ 市場教育長：ほかにございませぬか。

なければ、議案第10号東広島市立美術館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について、原案のとおり可決することとしてよろしいでしょうか。

それでは、提案のとおり決定いたします。

続きまして、議案第11号重要文化財旧木原家住宅設置及び管理条例施行規則の一部改正について、原案のとおり可決することとしてよろしいでしょうか。

それでは、提案のとおり決定いたします。

続きまして、議案第12号東広島市指定重要文化財旧石井家住宅設置及び管理条例施行規則の一部改正について、原案のとおり可決することとしてよろしいでしょうか。

か。

それでは、提案のとおり決定いたします。

報告第12号 臨時代理の報告について

- 市場教育長：それでは、報告事項に移ります。

報告第12号臨時代理の報告について説明をお願いいたします。

- 武上学校教育部長兼教育総務課長：報告事項の1ページをお願いいたします。

報告第12号でございます。

1の臨時代理の要旨でございますが、令和7年第1回広島市議会定例会に提出する議案について、市長から意見を求められましたが、同意することについて緊急を要し、かつ教育委員会の会議を招集する時間的余裕がなかったため、臨時に代理しましたので報告するものでございます。

3の臨時代理年月日は、令和7年3月17日でございます。

議案の内容でございますが、5ページをお願いいたします。

議案の内容は、財産の取得でございます。

1の提案の理由でございますが、中学校で使用する中学校教師用教科図書及び指導書の買入れをしようとするものでございます。

2の取得する財産は、中学校教師用教科図書及び指導書、数量は1,256冊でございます。

3の取得価格は、3,107万9,057円で、4の相手方は、記載のとおりでございます。

説明は以上でございます。

- 市場教育長：ありがとうございます。

ただいまの報告について、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

- 島本委員：この相手方が尾道なんですけど、東広島にはないんですか、この中学校のこういうのを扱っているのは。

- 武上学校教育部長兼教育総務課長：以前は森書店さんがこの区域を担当されておりました。森書店さんがなくなったことで、今回の業者ということになっております。

- 島本委員：はい。

- 市場教育長：そのほかありませんか。

報告第13号 専決処分の報告について

- 市場教育長：それでは、次に報告第13号専決処分の報告について説明をお願いいたします。

- 武上学校教育部長兼教育総務課長：6ページをお願いいたします。

報告第13号専決処分の報告についてでございます。

損害賠償の額を定めることについて、地方自治法の規定により専決処分をしまし

たので、報告するものでございます。

1の専決処分の内容でございますが、(1)損害賠償の額は、5万1,018円でございます。(2)の債権者は、記載のとおりでございます。

2の専決処分年月日は、令和7年3月10日でございます。

7ページをお願いいたします。

報告の理由でございますが、令和7年2月7日、西条中学校の校庭において、入学案内のために駐車場にしておりました。駐車場とテニスコートを分けるネットが強風により倒れ、軽自動車に損害を与えたものでございます。これを受けまして、3月初めの校長会で、再度、こういった事例がないように注意喚起するとともに、4月最初の校長会においても、再度、注意喚起をしたいというふうに考えております。

説明は以上でございます。

○ 市場教育長：ありがとうございます。

ただいまの報告について、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

報告第14号 令和7年度第1回東広島市議会定例会について

○ 市場教育長：では、次に報告第14号令和7年度第1回東広島市議会定例会について説明をお願いいたします。

○ 片岡学校教育部長：それでは、令和7年第1回東広島市議会定例会の答弁内容についてご報告いたします。

なお、時間の関係もございますので、説明は重複している質問などは割愛させていただき、さらに答弁のポイントのみの説明とさせていただきます。

14ページをお願いします。

質問ですが、高美が丘小中学校における義務教育学校、小中一貫校の可能性についての質問でございまして、これに対する答弁として、これまでの保護者説明会において合意形成が進んでいない現状や、教員が個々の課題を説明し、慎重に検討する必要があると答弁を申し上げております。

次、飛びまして、17ページをお願いします。

これは、先ほどに続き、高美が丘小中学校の件なんですが、学びの多様化学校の設置についての質問に対する答弁といたしまして、この学びの多様化学校については、県内にも実績がなく、現行の不登校等支援体制を充実させる方針であるというふうに答弁をしております。

次の18ページをお願いします。

18ページは、CS挑戦応援事業の実施背景についての質問でございまして、これに対する答弁として、特に不登校児童生徒の学びの場を確保するため、学校外の居場所づくりを進めておりまして、次年度から学校運営協議会による学習支援や居場所づくりを補助、支援する方針であるというふうに答弁をしております。

飛びまして、22ページをお願いします。

幼保小連携の推進についての質問でございまして、これに対する答弁として、令和6年度の成果として、保育所の環境設定を生かした事業づくりなどが進展していることを説明しました。また、課題として、連携が担当者に依存している点を上げまして、令和7年度には、幼保小連携特設講座を開設し、教職員の理解促進を図ることを答弁しております。

次に、24ページをお願いします。

部活動の地域展開についての質問でございます。これに対する答弁としまして、本市では令和9年度から休日の部活動を地域で展開し、多世代交流や他種目活動が可能な団大設立を支援していくというふうにお答えしています。

26ページをお願いします。

不登校支援と地域共生社会の推進についての質問でございます。これに対する答弁として、SSRやフレンドスペースの活用などにより、不登校児童生徒の登校日数増加や生活改善の成果を確認していること、また27ページでございますが、その一方で、地域格差の是正であるとか、卒業後の支援強化が課題でありまして、今後は地域ごとの実態に応じた学びの場を整備していくと答弁をしております。また、不登校児童生徒の保護者向けにリーフレットを配布しているほか、ホームページ上に専用ページを開設予定であることを答弁しております。

次に、30ページをお願いします。

防災教育の推進についての質問でございます。答弁として、学校では避難訓練や消火体験、またマイ・タイムラインの作成などを実施していること、また今後は地域の関係組織と連携し、ハザードマップ作成や避難所運営ゲームなどを通じた実践的防災教育を推進することを答弁しております。

31ページをお願いします。

就学援助制度と給食費無償化についての質問でございます。答弁は32ページでございます。まず、本市の就学援助制度の基準につきましては、県内自治体と同程度であること、それから支援が必要な家庭が確実に制度を利用できるよう、周知活動を強化する方針を説明しました。

また、給食費無償化につきましては、財源確保の課題もあり、国の動向などを踏まえ、慎重に検討するというふうにお答えをしております。

学校教育関係は以上です。

- 伊藤生涯学習部長：生涯学習部の答弁内容についてご説明いたします。

35ページをお願いいたします。

木村議員から、本市の家庭教育支援はどこを目指しているのかという質問をいただきました。家庭教育は全ての教育の出発点であり、基本的倫理観、自尊心、自立心を身につけていく上でも重要な役割を担っています。本市におきましては、主に将来にわたる人格形成の基礎を培う乳幼児期の保護者を対象に、これまで、親の力を学び合う学習プログラムなどの講座を行っていました。また、同時に、この講座を円滑に進行できる人材育成の養成にも取り組んでいるところでございます。こう

した中で、子ども・子育て支援ニーズ調査の中で、小学生の子を持つ保護者からは、子どもを叱り過ぎてしまうことや子どもの友だち付き合いなどについての回答が多いことから、就学後の子を持つ保護者の子育て力の育成にも注力してまいりたいと考えており、今後、家庭教育支援のより一層の充実を目指して、地域の学びの拠点である生涯学習センターや地域センター等の講座においても、家庭教育支援に関する分野を積極的に取り入れて、子どもへの理解や保護者同士の交流を深め、地域での支援者を増やすことにより、保護者の子育てに対する自信や安心感の醸成を図ってまいりますと答弁しております。

説明は以上でございます。

- 市場教育長：ありがとうございます。

ただいまの報告について、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

- 柏崎委員：報告事項31ページ、32ページの小・中学校の給食について伺いたいと思います。

子どもたちのためのおいしい給食をありがとうございます。最近の物価高とか米不足で、給食の原材料費が上がってきているんじゃないかなと思うんですけども、量が減っているんじゃないかとか、栄養バランスは大丈夫なのかなとか、保護者の声がちらほら聞かれています。答弁のほうでは、地方創生交付金を活用して対応しますとあるんですが、時限式とも書いてあるので、いつか値上がりするんじゃないかなと思っているんですが、保護者としては、値上がりする前に早めにお知らせいただきたいなというのもあり、今、給食の現状と今後について、何か現時点で分かることがあれば伺いたいのですが。

- 吉岡学事課長：今、物価高騰分につきましては、保護者負担を増やさないように、臨時交付金で賄っております、実際には1食当たり40円から50円程度、小中学校において、交付金を充てている状況です。今後、無償化であるとか、国の動き等々あるんでしょうけども、そこに向けては早い段階です、今これぐらいの給食費がかかっていますよということは保護者に対してアナウンスをして、それぞれかかっているということを認識していただきながら、また国の無償化に向けての動向等は早めに保護者の方には周知をさせていただこうと思います。

- 柏崎委員：量とか栄養バランスとか、今までどおり変わらずという感じで大丈夫でしょうか。

- 吉岡学事課長：エネルギー量であるとか栄養バランスであるとか、国が示しているものに準じておりますので、特にその量が減るだとか栄養バランスが悪くなるかというところはございません。

- 市場教育長：よろしいでしょうか。

- 柏崎委員：ありがとうございます。子どもたちの口に入るものなので、ぜひ子どもにおいしいものをたくさん提供していただければと思います。ありがとうございます。

- 市場教育長：よろしいでしょうか。

報告第15号 令和7年度予算特別委員会について

- 市場教育長：それでは、次に報告第15号令和7年度予算特別委員会について、事務局からの説明は割愛させていただきますが、ご意見、ご質問があればお願いいたします。
よろしいでしょうか。

報告第17号 G I G Aスクール推進に係る本年度の取組みについて

- 市場教育長：それでは、次に報告第17号G I G Aスクール推進に係る本年度の取組みについて説明をお願いいたします。
- 徳満指導課情報教育推進室長：報告第17号G I G Aスクール推進に係る本年度の取組みについてご説明いたします。
まず、I C Tを活用した授業力の向上についてでございます。
資料53ページをご覧ください。
本年度実施した教員研修及び広域交流型オンライン学習の取組みについては、表のとおりでございます。
資料54ページ、上段をご覧ください。
令和6年度学校教育レベルアッププランアンケートの結果でございます。授業における1人1台端末の活用頻度は、昨年度に比べて、小学校で15.7ポイント、中学校が10.7ポイント上回る結果となりました。
資料、下段をご覧ください。
令和6年度全国学力・学習状況調査の結果でございます。
本市では、県や国に比べ、I C T機器活用に関するサポートが十分に受けられているとの結果を得ており、このことが1人1台端末の活用頻度の向上にもつながったものと考えております。
一方で、資料55ページ、上段をご覧ください。情報教育推進室が作成した令和6年度G I G Aスクール構想推進に係るアンケートの結果によると、クラウドを活用して指導する力は、昨年度と比較すると上昇しているものの、依然7割前後となっており、引き続き課題がございます。この課題を解決し、効果的な1人1台端末活用の日常化を図るため、次年度は研修の内容を見直します。実践事例を普及する研修として、I C Tを効果的に活用している教員の授業を参観、協議することに加え、クラウド活用に係る講義、演習型の研修を追加する予定としております。また、I C T活用技能の向上に係る研修につきましては、I C T支援員の各校への定期巡回を強化し、各校の支援に対するニーズをこれまで以上に聞き取り、支援効果を向上させてまいります。
次に、広島大学と連携して実施している広域交流型オンライン学習についてでございます。
資料53ページにお戻りください。

小学校は希望校、中学校は志和、福富、豊栄、河内の4校を対象に、オンラインでつないで実施いたしました。今年度は、不登校傾向にある児童生徒への支援として、校内のスペシャルサポートルームや校外のフレンドスペース、県設置の“SCHOO”L”S”からも参加できる体制を整えました。この取組は、内閣府に採択された第3期戦略的イノベーション創造プログラムとして次年度も継続し、カリキュラムの開発、社会基盤の開発、AI学習支援技術の開発を行うなど、引き続き、内容等の充実、拡充を図っていくこととしております。

続いて、児童生徒のICT活用技能の向上についてでございます。

資料55ページ、下段及び資料56ページをご覧ください。

本年度実施したICT作品コンペ、タイピング大会については表のとおりでございます。ICT作品コンペ、タイピング大会とも、おおむね参加人数は増加傾向にあります。取組状況の学校間格差が大きいことが課題であると捉えております。あくまでも参加は任意のものではございますが、今年度より運用を開始しているTeamsや情報教育推進室が発行している情報教育広報紙等を通じて、積極的な参加を呼びかけていきたいと考えております。

報告第17号の説明については以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○ 市場教育長：ありがとうございました。

ただいまの報告について、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

○ 京極委員：ありがとうございました。まず、53ページのところの広域交流型オンライン学習の件なんですけれども、これ、具体的にはどんな形でやられているんですかね。ただ講義するだけではなくて、実際には受けている子供たちがディスカッションするとか、そういうことまでされているんですか。

○ 徳満指導課情報教育推進室長：まず、この広域交流型オンライン学習につきましては、広島大学、そして各学校、そして教育委員会が連携して実施しているものでございます。授業の実際につきましては、先ほど京極委員さんがおっしゃったように、各学校をオンラインでつないでおりますので、各学校、各学級で考えたことを基に意見交流を行うというようなことも実施しております。

○ 京極委員：やっぱりそれをしない限り、オンラインでやっても身につかないと思うので。

もう一つ、55ページの教員研修のところも、こういうものって、演習をやらない限りは絶対に身につかないと思うので、できるだけそういうものをしていただいたほうがいいんじゃないかなと思いました。ありがとうございました。

○ 市場教育長：そのほかございませんか。

その他ア 令和6年度末辞・退職者（応募認定退職者）辞令交付式及び令和7年度県費負担教職員辞令交付式について

その他イ 次回教育委員会定例会の日程について

- 市場教育長：それでは、その他に移りたいと思います。
このたびは個別案件についての説明は省略させていただきますが、特に伝えたいことが事務局からありますか。
続きまして、次回教育委員会定例会の日程について説明をお願いいたします。
- 武上学校教育部次長兼教育総務課長：次回定例会の日程でございますが、4月は22日火曜日10時から北館201で、5月につきましては、22日木曜日15時からでお願いしたいと思います。
説明は以上です。
- 市場教育長：ありがとうございました。
それでは、次回は4月22日の火曜日10時から北館会議室201で決定いたします。
次々回は、5月22日木曜日15時からをご提案いたしました。委員の皆様、ご都合はいかがでしょう。
- 市場教育長：ご都合が悪いですか。
それでは、日程調整をよろしくをお願いいたします。
その他、事務局からありますか。
それでは、委員の皆様からございますか。
- 島本委員：アザレア賞、委員で参加したんですけど、とてもよかったなと思ったのと、最後に黒瀬高校の子が謝辞が、すばらしかったですよね。原稿なしであっただけ、すごいなと思いました。
あと一つ、賞状が大きいでしょう。それで、小さい子もいたりするので、手元に持って帰って、丸めて筒に入れる、何か入れにくそうなので、今、ぱたっとA3を半分に折ることって、卒業証書みたいなありますよね。何かああいうなのに変えると、持ちやすいし。一遍、多分、筒に入れたら一生見ることはなくて。そういったあれなんで、たんびに見たりもできるし、持つのも大きいので、お金がかかるか知らんですけど、今、ぱたっと折る、何ていうんでしょう、ファイルみたいなものがいいなと思いました。以上、すみません。
- 市場教育長：何かありますか、どうですか。
- 神笠生涯学習部次長兼生涯学習課長：ご提案ありがとうございます。なかなかそんなところ、私たちも実際、気づいておりませんでした。そういったご意見もいただきましたので、また来年度、できるかどうかということも含めて、課内で検討していきたいと思います。ありがとうございます。
- 島本委員：すいません。
- 神笠生涯学習部次長兼生涯学習課長：ありがとうございます。気づきもしませんでした。
- 市場教育長：そのほか、委員の皆さんからありますか。

【非公開】

閉会 午後4時0分